

# 令和2年度 社会福祉法人 富門華会 事業報告書

## I. 法人の現況

### 1. 令和2年度の活動状況総括

#### (1) 事業経過及びその成果

念願の富門華寮・第二富門華寮の施設新築計画は、基本設計を終えて8月に「令和3年度富門華寮施設整備事業計画(基本計画協議)書」を北海道胆振総合振興局へ提出していたところであったが、年度末の3月4日に国の令和2年度補正予算枠において、国庫・道費補助採択の内示決定の知らせを受けたところであり、その後、補助申請書を国と北海道へ提出し、設計業者への実施設計業務委託指名競争入札執行の通知書送付等、諸手続きを開始し、いよいよ本格的に施設整備事業が動き出すこととなった。今後、事業実現に向け、実施設計業者・工事施工業者の入札選考、福祉医療機構からの整備資金借入の決定が必要となるが、一つ一つの手続きを確実に踏んで実現に向かって取組んでいきたい。

また、障がい者グループホームの整備計画に関しては、富門華寮・第二富門華寮のグループホーム準備委員会や法人運営会議において検討を重ね進めてきたところであり、本体施設の国・道の補助が決まったことにより本体施設の新築整備事業が動き出すことから、同時にグループホームの整備事業も具体的・先行的に計画を進める必要があり、その作業にさらに力を注ぐため取り掛かったところである。

新型コロナウイルス感染症の蔓延拡大状況が昨年度の1～2月頃から見られるようになり、全世界、また、日本全国・全道においても感染が拡大し、既に1年以上が経過したにもかかわらず、未だに終息が見えない状況の中で私たちも全ての人々も恐怖と不安・緊張の中で過ごしているところである。コロナ感染症が重症化し、死に至るケースも続出し、その恐ろしさを誰もが知るところとなっている現状である。病院や福祉施設、その他様々な所で集団感染が発生し、又、各家庭内においても感染者が出る事態となっており、私たち法人各事業所においても、利用者・職員共々、同じく緊張と恐怖心を常に抱えながら感染防止のための様々な対策に取り組んできた。各種会議・打合せを随時実施し、事業所においては外出や移動の制限、施設行事の中止や縮小等、一時帰省や家族の面会等の制限、毎日の清掃・消毒作業などはもちろん、事業所内での日々の対応を行なってきたところであり、引き続き感染症防止対策の継続と強化の手を休めることが出来ない状況が続いている。

また、いつ襲ってくるかも誰にも分からない地震等の自然災害に対しては、防災・減災対策の意識を保ち、取り組んでいるが、やはり新型コロナウイルス感染症の対策を最優先として取り組まざるを得なかったのは止むを得ないことだと捉えている。

施設の運営において、最も重要なリスク管理の一つである利用者の権利擁護、虐待防止対策について、コロナ禍で誰もが普段以上に生活に不安とストレスを多く抱えている状況である事は仕方のない事であるが、その点を踏まえ、理解した上でより一層気を配りながら利用者支援に当たることをスタッフ全員がその意識を保つようにと施設側の思いや考えなどを機会あるごとに職員へ伝えるなどして施設側と職員側双方で取組んでいくことが出来た。

障がい者、高齢者の各事業所においては、利用率の向上が即ち収入・報酬増となり、事業所の経営・財政状況の安定化に結びつく最も重要な要素であるのは言うまでもないことであるが、特に高齢者事業所では僅か9名定員の単独事業所である安平町指定管理施設「安平町認知症高齢者グループホームさかえ」及び一般型20名・認知症対応型10名定員の「安平町デイサービスセンターサックル」、30名定員の「ケアハウスサックル」それぞれの事業所の利用率のアップを目指し、役場健康福祉課や各関係機関・組織との連携を図るなどの努力を注ぎ、グループホームさかえ並びにケアハウスにおいては、欠員状態を何とか最小限に抑えながら運営を行なってきたことが出来た。特にデイサービス事業では利用率が一般型及び認知症対応型共々、昨年度よりも10%近くアップさせることができたものの、利用者の方々の要介護度の平均が全体的に下降しているために収入増に結びつくというまでには至らなかった。

町内の医療法人が運営していた病院や居宅事業所、通所リハビリセンター(デイケア)が6月に閉鎖したことや、さらに別にもう1ヶ所居宅事業所やヘルパーセンター、介護タクシー・外出支援・通院移送サービス事業、安平町共同生活施設2か所の運営を担っていた事業所(株式会社)が年度末をもって事業撤退したことにより、町内における高齢者事業所状況の大きな変化が見られた1年でもあった。

地域公益活動に関しては、実施要綱に基づき取組みを継続し、地域在住の障がい者の方の生活支援、施設退所後に入院生活を続けている方への訪問や生活の一部支援などの取組を行ってきたが、入院していた方が亡くなるなどしたため、支援対象の方は減ったが、その他の対象の方への支援を施設長、事務員を中心に行なってきた。

又、安平町のオレンジカフェ(認知症カフェ)の開催に対しては、常に協力体制を維持してきたが、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない社会状況の中ではカフェは一度も開催されることなく終わってしまった。

安平町の委託事業である「早来地区在宅介護支援センター」の業務では、高齢者実態調査の調査件数が町側の実施方法の変更により大きく減少したが、割当てられた調査の実施は行なうことが出来た。町内在住の高齢者等の緊急時ヘルプコールへの対応は件数こそ少なかったものの、対応することが出来た。

年度末をもって法人施設の施設長2名等の退職が決まっている中で、特に次年度に向けて、施設長を始めとする課長職等といった法人中枢部の重要人事決定が必要であった為、審議の場である「人事推薦委員会」を正式に立ち上げ、委員会を開催し、重要人事に関する決定を行なった。施設長等に関しては、さらに理事会に提案した上での最終決定を行なった。

また、臨時職員の賃金に関しては、従来から事業所間での違いが取り上げられていたため、検討会議を重ね、ルールの統一化を図り、今後の重要人事に関する決定経過を明確化したところである。

## 2. 重点方針の取り組み

### (1) 富門華寮・第二富門華寮の施設整備計画及び障がい者グループホーム整備計画

実施項目	実施状況等
1. 基本設計の完成と基本計画書(協議書)の作成、北海道への提出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設整備ワーキンググループ(WG)における検討</li> <li>・法人運営会議、理事会における検討と方針決定</li> <li>・設計業者、北海道胆振振興局社会福祉課との打合せ</li> <li>・安平町健康福祉課との打合せ、書類作成等の協力依頼</li> <li>・設備・備品業者等からの情報収集と書類作成</li> <li>・地域(富岡自治会)説明会の実施及び近隣土地所有者への計画説明</li> <li>・利用者及び利用者家族、役員・評議員への進捗状況報告</li> <li>・職員説明会の実施(3回)</li> <li>・地目変更、その他の手続き実施</li> </ul>
2. 補助採択に向けての取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地測量、地盤調査の実施</li> <li>・施設整備WG、法人運営会議、理事会における検討</li> <li>・町議会、道議会、国会議員への陳情活動</li> </ul>
3. 補助採択(内示)後の手続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国・道へ国庫・道費補助金交付申請書類一式提出</li> <li>・実施設計業務委託指名競争入札執行の業者通知</li> </ul>
4. グループホーム整備計画の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループホーム準備委員会、法人運営会議における検討</li> <li>・施設整備WG、法人運営会議、理事会における検討</li> <li>・安平町健康福祉課との打合せ</li> <li>・町内の土地、建物物件の調査、情報収集</li> <li>・職員説明会の実施</li> </ul>

### (2) 新型コロナウイルス感染症対策等

実施項目	実施状況等
1. 会議・打合せの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策委員会(法人)の開催と方針決定</li> <li>・各事業所内感染症対策委員会、会議・研修、打合せ等の実施</li> <li>・法人運営会議、法人理事会の開催</li> </ul>
2. 感染症防止対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業所における清掃・消毒作業の徹底</li> <li>・施設行事の中止又は縮小、又は安全な方法での実施等</li> <li>・利用者の外出一時帰省の制限、家族等の面会の制限</li> <li>・職員への外出等の自粛の呼びかけ等</li> <li>・感染防止のためのマスク、消毒剤、防護服等の物品や備品調達</li> <li>・施設内でのゾーニング、通院、PCR検査の実施</li> </ul>

(3) 各事業所の経営・財政基盤の強化

実施項目	実施状況等
1. 障がい者事業所 富門華寮・第二富門華寮	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がいの重い利用者の受入方針の堅持と支援継続</li> <li>強度行動障がい支援者養成研修への職員の積極的参加等</li> <li>収支における有効・適正な支出への心がけと節約</li> </ul>
2. 高齢者事業所 ケアハウス・デイサービス サックル 認知症グループホームさかえ	<ul style="list-style-type: none"> <li>各居宅事業所、役場健康福祉課・地域包括支援センター、医療機関、町内外の他事業所等との連携強化による利用希望者の受入</li> <li>要介護度の高い利用者の積極的受入方針の堅持</li> <li>収支における有効・適正な支出への心がけと節約</li> </ul>

(4) 地域公益活動の実施

実施項目	実施状況等
1. 地域在住の障がい者 2 名の方々の生活支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>OH氏(安平町内の牧場住込み) 預金管理、健康管理(通院・健診付添い)、余暇支援、生活相談、住込先との連絡調整等</li> <li>HK氏(安平町内のアパート) 身の回りの生活支援、各種手続き代行、外出・買い物支援、預金管理、支払、安否確認、相談対応</li> </ul>
2. 施設退所した障がい者 3 名の方々の生活支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>富門華寮退所者 HT氏(千歳市) 面会訪問、家族への連絡、死去(葬儀等への支援)</li> <li>ケアハウスサックル利用者 IK氏 各種手続き代行、職場提供と通勤の支援、生活相談対応等</li> <li>第二富門華寮退所者 SH氏への面会訪問等</li> </ul>
3. 認知症カフェ開催支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施なし</li> </ul>
4. その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域自治会活動への協力、役員としての協力等</li> <li>安平町地域見守りネットワーク参加協力</li> <li>安平町徘徊高齢者SOSネットワーク協力機関協定締結</li> <li>安平町、安平町社会福祉協議会、他法人への協力(役員、評議員等)</li> <li>安平町復興ボランティアセンターへの協力(役員等)</li> </ul>

(5) 安平町在宅介護支援センター委託事業

実施項目	実施状況等
安平町在住高齢者実態調査 委託契約書・委託業務処理要領による	<p>訪問調査実施(実施件数年間 4 件)</p> <p>※4月～6月 新型コロナウイルス感染症のため町より調査実施中止の指示</p> <p>※未実施分は、調査拒否・不在、要介護認定移行、転出その他の理由による</p>
緊急呼び出しコール対応	相談援助対応件数 2 件(町内)
町地域包括支援センターからの連絡	町内の徘徊の可能性のある高齢者情報連絡と職員への協力依頼

### 3. 事業収支及び財産の状況（一般会計）

#### ①収支の推移

単位：千円

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令元・令2年度比較増減
サービス活動収益	705,523	693,906	733,025	39,119
サービス活動費用	687,314	689,015	721,873	32,858
サービス活動外収益	12,601	9,908	14,288	4,380
サービス活動他費用	2,280	2,659	2,588	△ 71
経常増減差額	28,530	12,140	22,852	10,712
特別収益	0	0	0	0
特別費用	0	0	0	0
特別増減差額	0	0	0	0
当期活動増減差額	28,530	12,140	22,852	10,712

#### ②資産・負債の推移

単位：千円

	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末	令元・令2年度比較増減
流動資産	325,546	310,734	324,867	14,133
固定資産	1,029,258	1,040,481	1,053,899	13,418
資産合計	1,354,804	1,351,215	1,378,766	27,551
流動負債	54,231	46,660	60,427	13,767
固定負債	93,409	99,009	102,866	3,857
負債合計	147,640	145,669	163,293	17,624
純財産	1,207,164	1,205,546	1,215,473	9,927

### 4. 今後対処すべき課題

- ①新型コロナウイルス感染症対策、地震・火災・洪水等の防災・減災対策等リスク管理対策の強化
- ②障がい者支援施設富門華寮、第二富門華寮の施設整備事業計画(施設統合)の実現及びグループホーム整備計画(地域移行)の実現
- ③利用者の権利擁護と虐待防止対策並びに利用者の生活の質の向上
- ④職員の倫理意識・資質の向上、優秀な人材確保
- ⑤障がい者・高齢者事業所の経営・財政基盤の強化と安定化
- ⑥法令・基準に基づく適正な法人及び事業所運営並びに法人本部機能の強化
- ⑦地域公益活動の実施と充実化
- ⑧障がい者事業所の利用者の高齢化・重度化への対策
- ⑨高齢者事業所利用者の加齢及び介護度の高まりに対する対策

## II. 法人の概要及び実施する事業

### 1. 主たる事務所の所在地

〒059-1434 北海道勇払郡安平町早来富岡 129 番地 1

## 2. 事業の種別

### (1) 第1種社会福祉事業

(ア) 障害者支援施設の経営

(イ) 軽費老人ホームの経営

### (2) 第2種社会福祉事業

(ア) 障害福祉サービス事業の経営

(イ) 老人デイサービス事業サックルの受託経営

(ウ) 認知症対応型老人共同生活援助事業（安平町認知症高齢者グループホームさかえ）の受託経営

## 3. 事業の種類及び名称等

名 称	施 設 長	所 在 地	定員(人)
富門華寮（障害者支援施設）	戸 田 好 枝	安平町早来富岡	生活介護 50 入所支援 50
第二富門華寮（障害者支援施設）	五十嵐 勸	〃	生活介護 69 入所支援 60
あけぼのグループホーム（共同生活援助事業）	戸 田 好 枝	安平町早来大町	4
富岡ホーム（共同生活援助事業）	〃	安平町早来富岡	4
ケアハウスサックル	清 水 浩 明	安平町早来栄町	30
安平町デイサービスセンターサックル （安平町指定管理者施設）	〃	〃	一般型 20 認知症対応型 10
安平町認知症高齢者グループホームさかえ （安平町指定管理者施設）	〃 管理者 中田 良彦	〃	9

## 4. 施設サービス利用者の推移

単位：人

名 称	平成 30 年度末	令和元年度末	令和 2 年度末	令元・令 2 年度比較増減
富 門 華 寮	46	48	48	0
第 二 富 門 華 寮	56	55	54	△ 1
〃（通所者）	7	7	7	0
あけぼのグループホーム	3	3	3	0
富 岡 ホ ー ム	4	4	4	0
ケアハウスサックル	28	29	29	0
デイサービスサックル	1日平均 16.2	1日平均 15.5	1日平均 18.0	1日平均 2.5
グループホームさかえ	9	9	9	0

## 5. 施設職員数の推移

単位：人

名 称		平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末	令元・令2年度比較増減
富門華寮	正	18	20	19	△ 1
	臨	15	15	15	0
	計	33	35	34	△ 1
第二富門華寮	正	27	24	24	0
	臨	17	17	17	0
	計	44	41	41	0
ケアハウス サックル	正	3	3	3	0
	臨	15	15	13	△ 2
	計	18	18	16	△ 2
デイサービス サックル	正	3	3	4	1
	臨	11	13	16	3
	計	14	16	20	4
グループホーム さかえ	正	1	1	1	0
	臨	8	8	7	△ 1
	計	9	9	8	△ 1

※デイサービスは、一般型・認知症対応型及びサックル介護保険相談所を含む

各年度末日現在

あけぼのGH、富岡ホームはそれぞれ臨時職員(世話人)2名を配置

正：正職員 臨：非常勤・パートを含む

## 6. 借入金

なし

## 7. 補助金関係

軽費老人ホーム運営費補助金(道) ケアサックル 15,382,490円(道)

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策費(安平町)

富門華寮 第二富門華寮 ケアサックル GHさかえ 各600,000円

新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金(北海道)

富門華寮 1,215,000円 第二富門華寮 1,215,000円 富岡ホーム 402,000円

ケアサックル 1,089,000円 デイサックル 1,393,000円 GHさかえ 324,000円

## 8. 監査等

### (1) 法人監事による監査実施日、内容等

- 令和1.5.21 令和元年度事業報告書・計算書類、会計事務所による巡回監査結果、利用者預かり金・小遣い帳処理関係、新型コロナウイルス感染症対策
- 令和1.5.25 令和元年度事業報告書・計算書類、財産目録、理事長の職務執行状況、施設整備計画進捗状況

- ・令和2.10.2 理事長の業務執行状況、利用者預かり金・小遣い長処理、会計事務所による巡回監査結果、各会計拠点区分月末預金残高、新型コロナウイルス感染症対策、各事業所の業務報告、施設整備計画手続き・進捗状況・
- ・令和3.2.15 理事長の職務執行状況、新型コロナウイルス感染症対策、利用者預かり金・小遣い帳処理関係、各会計拠点区分月末預金残高、避難訓練等実施状況・苦情受付処理、研修関係

(2) 税理士法人さくら総合会計による巡回監査実施日、内容

- ・令和2.5.18 令和2年1～3月会計処理、令和元年度決算、財務書類
- (・令和2.5.22 「財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援業務実施報告書」受領)
- ・令和2.7.29 令和2年4～6月 各拠点区分会計処理、介護職員コロナ給付金処理
- ・令和2.11.13 令和2年7～9月 各拠点区分会計処理
- ・令和3.2.17 令和2年10～12月 各拠点区分会計処理

(3) 胆振総合振興局保健環境部社会福祉課事業指導、安平町、その他

- ・令和2.4.8 障害福祉サービス事業者等現況報告書(第二富門華寮)
- ・令和2.4.13 介護保険施設等現況報告書(サックル介護保険相談所)
- ・令和2.4.13 障害福祉サービス事業者等現況報告書(富門華寮、あけぼのグループホーム、富岡ホーム)
- ・令和2.4.24 介護保険施設等現況報告書(ケアハウスサックル、デイサービスサックル)
- ・令和2.7.8 社会福祉法人現況報告書及び財務諸表等電子開示
- ・令和2.7.16 障がい福祉サービス情報公表更新
- ・令和2.9.23 介護サービス情報公表更新(サックル介護保険相談所)
- ・令和2.10.21 胆振総合振興局による障がい福祉サービス事業者等指導監査(集団指導)
- ・令和2.10.28 介護サービス情報公表更新(グループホームさかえ)
- ・令和2.10.29 介護サービス情報公表更新(デイサービスサックル)
- ・令和2.10.30 介護サービス情報公表更新(ケアハウスサックル)

9. 登記事項

- ・社会福祉法人変更登記(令和2年7月8日) 令和2年3月31日 資産総額の変更
- ・地目に関する変更登記(令和2年10月2日) 富岡129-7・9 畑を宅地に地目変更

10. 理事会開催状況(理事定数6名以上8名以内 現員8名 監事定数2名 現員2名)

	月/日	出席数	監事	審議・報告事項
第1回	6/23	7/8	1/2	令和元年度事業報告・会計決算案・監査報告、定款変更、定時評議員会開催案、報告(新型コロナウイルス感染症対策、富門華寮施設整備事業計画)
第2回	8/17	8/8	1/2	富門華寮施設整備事業計画、報告(各事業所利用者・職員の状況 理事長の職務執行状況・専決事項)
第3回	3/24	8/8	2/2	令和2年度各拠点区分補正予算書、施設長の選任、次期理事及び



				監事候補者の選考、次期評議員候補者の推薦、令和3年度事業計画、各拠点区分予算案、富門華寮施設整備事業計画、富門華寮新築工事実施設計業務委託に係る指名競争入札について、報告(理事長職務執行状況・専決事項、利用者・職員の状況、監事による監査結果)
--	--	--	--	---

11. 評議員会開催状況 (定数7名以上9名以内 現員9名)

	月日	出席数	監事	審議・報告事項
第1回	(7/8)	9/9	2/2	<u>※決議の省略にて開催(書面決議)</u> 令和元年度事業報告・会計決算案・監査報告、定款変更

12. 法人運営会議 (理事長、統括施設長、施設長、事務長、支援課長等出席)

- ・計21回開催 (4/13 5/25 6/8 6/22 6/29 7/10 7/27 8/24 9/2 9/14 9/28 10/26  
11/13 11/25 12/7 12/23 1/18 1/25 2/8 2/22 3/22)

	月/日	出席者数	協議・報告事項
第1回	4/13	7	・新型コロナウイルス感染症対策
第2回	5/25	6	・令和2年度第1回理事会議案・報告事項、報告(6月理事長の来所予定等、新型コロナウイルス感染症対策、利用者・職員状況、理事長より)
第3回	6/8	6	・令和2年度第1回理事会、在宅介護支援センター委託業務高齢者実態調査
第4回	6/22	7	・令和2年度第1回理事会議案・理事会報告事項、サックル介護保険相談所の運営状況、報告(理事長より、新型コロナウイルス感染症対策)
第5回	6/29	5	・安平町指定管理事業業務実績報告、富門華寮・第二富門華寮施設整備事業計画、報告
第6回	7/10	7	・富門華寮・第二富門華寮施設整備計画
第7回	7/27	6	・富門華寮・第二富門華寮施設整備計画、報告(8月理事長の来所予定日、利用者・職員の状況・行事・一時帰省、事務所より、理事長より)
第8回	8/24	7	・富門華寮施設整備計画、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金、報告(9月理事長来所予定、利用者・職員状況、理事長より)
第9回	9/2	7	・富門華寮施設整備計画、人事に関する決定ルールについて
第10回	9/14	7	・グループホームさかえ運営費補助要望書、人事に関して、富門華寮施設整備計画、報告(新型コロナウイルス感染症対策、障害者GH整備)
第11回	9/28	7	・富門華寮施設整備計画、障害者GH建設計画・運営、グループホームさかえ運営費補助要望書、人事推薦委員会設置要綱案、報告(10月理事長来所予定日、利用者・職員状況・行事等、事務より、その他)
第12回	10/26	7	・富門華寮施設整備計画、グループホームさかえ運営費補助要望書、人

			事推薦委員会設置要綱、報告(障害者GH準備委員会より、11月理事長来所予定、利用者・職員状況、事務・理事長より、(株)在宅サッポロ安平事業所の撤退)
第13回	11/13	9	・新型コロナウイルス感染症対策、(株)在宅サッポロ安平事業所の撤退と事業継承の検討、人事推薦委員会開催申請書、報告、理事長より)
第14回	11/25	7	・(株)在宅サッポロ安平事業所撤退と事業継承に対する町への回答書 令和3年度法人組織中枢部体制案
第15回	12/7	7	・令和3年度法人組織中枢部体制案、新型コロナウイルス感染症対策報告(在宅サッポロ安平事業所の撤退と事業継承、その他、理事長より)
第16回	12/23	9	・在宅サッポロ安平事業所撤退に係る事業継承、新型コロナウイルス感染症対策、令和3年度法人組織中枢部体制案
第17回	1/18	8	・新型コロナウイルス感染症対策、在宅サッポロ安平事業所撤退に係る事業継承、令和3年度法人事務局体制、報告(町からの障害サービス利用受入れ依頼、臨時職員の賃金条件の一本化、理事長より)
第18回	1/25	9	・新型コロナウイルス感染症手当について、臨時職員採用指針案報告(2月理事長の来所予定、利用者・職員状況、理事長より、富門華寮施設整備計画、障害者GH準備委員会より、事務より)
第19回	2/8	9	・新型コロナウイルス感染症等による臨時的手当支給要綱、臨時職員採用指針、報告(富門華寮施設整備計画国庫補助内示、会計事務所巡回監査、理事会開催、事業計画案、その他、理事長より)
第20回	2/22	9	・新型コロナウイルス感染症等による臨時的手当支給要綱、臨時職員採用指針、第3回理事会開催、障害者GH整備計画、報告(会計事務所による巡回監査結果、富門華寮施設整備計画、利用者・職員状況、事務より、理事長より)
第21回	3/22	9	・第3回理事会議案・報告事項、障害者GH整備計画、報告(本部事務員の採用、利用者・職員状況、事務・理事長より、その他)

・その他打合せ等(毎週月曜日並びに随時)

### 13. その他の会議

- (1) 人事推薦委員会 12/7 12/23 1/18  
(2) 入札等業者選考委員会 3/22 (富門華寮新築工事に係る実施設計業者)

### 14. 役員状況(令和2年3月31日現在)

任期: 令和元. 6. 20~令和3年度定時評議員会終結時

役職	氏名	住所	備考
理事長	多田 政拓	安平町早来	
理事	米澤 洋一	千歳市	統括施設長
〃	清水 浩明	長沼町	ケア・デイサックル さかえ施設長
〃	五十嵐 勸	安平町早来	第二富門華寮施設長

〃	平田 秀雄	新ひだか町	
〃	黒坂 昭	安平町早来	
〃	豊島 滋	安平町追分	
〃	反保 公志	札幌市	
監事	鱈 和英	安平町早来	
〃	中西 猛雄	札幌市	

15. 評議員の状況（令和2年3月31日現在）

任期：平成29.4.1～令和3年度定時評議員会終結時

氏名	住所	備考
畑山 由起子	安平町早来	
櫻井 唯紹	〃	
椎葉 浄子	〃	
實吉 智子	〃	
四宮 憲治	千歳市	
佐藤 民江	厚真町	
富澤 治英	安平町遠浅	
横澤 健二	安平町早来	任期：令和5年度定時評議員会終結時迄
小山 優子	安平町早来	〃

以上